

鹿島の逸品

工芸品



■面浮立

面浮立の踊り手「かけうち」が被る鬼面^{かぶ}で、地元の面師によって制作されています。魔除け飾りや記念品などのお土産としても人気があります。



■のどみ人形

どれい
土鈴の素朴な音色で魔除けの開運の人形として多くの人に親しまれている郷土玩具。これまでに3回、干支の人形が年賀切手のデザインに採用されています。



■鹿島錦

縦糸に上質な金銀の箔紙を横糸に色とりどりの絹糸を使った手織りの工芸品です。その織細で優美な織物は日本手工芸の極致と呼ばれる芸術品です。



■浅浦甚八笠

浅浦地区に約300年前から伝わる竹の皮で作る「かぶり笠」の「浅浦甚八」。雨用(雨笠)と日よけ(日笠)があり、農作業や魚釣り用として愛用されています。

鹿島の大地が育てた逸品



■みかん

みかんの栽培がさかんで、何種類ものみかんが栽培されており、1年を通していろいろなみかんを味わうことができます。高品質なみかんの一部は、「さがみかんプルミエ」という品名で、都市部において高級フルーツとして取り扱われています。



■いちご

特殊な選別方法(光センサー選果機)で選ばれた最高品質のいちごは、「さがいちごプルミエ」という品名で、都市部において高級フルーツとして取り扱われています。



■マンゴー

七浦地区でマンゴーが栽培されています。大きくなった果実にネットをかけ、完熟したマンゴーを出荷されています。地元で栽培されたおいしいマンゴーは市内の直売コーナーで買うことができます。



■さがんルビー

佐賀大学が研究・開発した国内初の国産グレープフルーツです。平成12年から鹿島市で試験栽培が開始され、首都圏やホテル、料亭で取り引きされています。ほどよい甘味があり果肉が外国産よりやわらかいのが特徴です。